

大西脳神経外科病院だより 第47号

ぶれいん

発行日：令和5年12月吉日

発行：学術図書委員会

発行責任者：大西 宏之

編集責任者：吉野 孝広

新体制として向かう先



医療法人社団英明会

大西脳神経外科病院

理事長・院長 **大西 宏之**

2023年の4月から新体制となり6カ月が経過しました。あっという間の半年でしたが、これまでの取り組みを振り返ってみたいと思います。まずは最重要課題として早急に行わなければならないと考えていたのは「コロナ前の状況に出来るだけ早く戻す」ということでした。感染対策として行ってきた面会制限の解除や入院時コロナ検査の簡素化をまず行い、職員の業務に対するストレスが減るよう運用を変更していきました。

また本院が中心となって行ってきた地域連携、病診連携に係る研修会や学会などについては昨年あたりから少しずつ開催してきましたが、今年はコロナ前に行っていた開催後の情報交換会（懇親会）を再開しました。

やはり対面による直接の情報交換会は改めて貴重であると感じました。それは院内でも同様で、夏にはバーベキュー大会、秋には職員旅行を行いました。コロナ前の状態に戻りつつあり活気も出てきたのではないかと思います。コロナの時期に受けたダメージはまだまだ大きいとは思いますが、これからもこの状態を維持し、各部署での忘年会や新年会も行い、コミュニケーションをしっかりとりながらこの忙しい冬をのりきって行ければと思います。12月16日には3年ぶりに忘年会を開催しました。楽しい時間を過ごす中、一年を振り返りながら良い締めくくりとなり、来年に向けての活力となったのではないかと思います。この時期当院は最も忙しい時期を迎えますが一致団結し乗り切ってよい年を迎えましょう。

「楽しくなければ」



医療法人社団英明会 会長 大西 英之

スポーツ界では阪神とオリックスがリーグ優勝し日本シリーズで戦うことになりました。阪神が優勝しましたが関西では非常に盛り上がりを見せました。

またサッカーでもヴィッセル神戸が優勝し、今関西はスポーツで非常に活気づいています。しかしそれ以上に日本中を盛り上げたのは大谷翔平さんの活躍です。

1995年に野茂英雄さんがピッチャーとして近鉄から大リーグのLAドジャーズに移籍して以来、イチローさんやそのほかの選手が大リーグで活躍し日本人でも大リーグで通用することが証明されてきましたが、これほどまでに活躍をするとはだれも思っていなかったのではないのでしょうか。日本プロ野球で二刀流をして結果を残すことでさえ凄いのに、これが大リーグでその結果を残し、多くの批判や意見がある中、見事にそれをやってのけ、さらにホームランキングのタイトルまで獲得したのです。100年に一人の逸材と言われています。日本人としても誇りに思います。

「仕事が楽しい」と言えるように

またスポーツではありませんが将棋の藤井壮太さんも素晴らしい才能の持ち主です。8つあるタイトル全てを史上最年少で獲得しました。さらに凄いと思うのはタイトルを保持する為には月に11から12局をこなしていく必要があり、体力的にも精神的にも過酷な状況を強いられているにも拘らず平然と対局を続けていることです。周囲からは体力や今後を心配する声が上がっています。

しかしそういった周りからの心配や不安視をよそにこの二人は疲れた様子も見せずさらに上へと高みを目指しています。その原動力はいったい何なのでしょう。

以前、大谷翔平選手がインタビューのコメントで「練習が苦になったことはありません、楽しくてしょうがないんです」と言われていたのを思い出します。そこには夢に向かう、目標に向かって積み上げていく事への喜びを見出しているのだと思います。日々の仕事を楽しいと思えることがレベルアップしていくための原動力となっているのではないのでしょうか。

皆さん月曜日の朝に「また一週間が始まる…」とため息をつきながら仕事に来いませんか？
今入院している患者さんに対する取り組みや、技術に対する研鑽のことを考えながら、こうしてみたい、こんなことも考えてみたいなど少しのことでも前向きに考えることができればもっと仕事が楽しく、有意義なものになると思います。二人に共通することは夢をもって努力することが楽しいということと言われています。どうせ仕事をするのであれば嫌々ながらにするよりも、楽しくできるように来年に向けて何か一つでも目標を持ってみてはいかがでしょうか

Ohnishi Neurological Center

コロナからの脱出 やっぱり直接 顔が見た～い

2023年度 新入職者歓迎会 5月22日

マスクを外し慣れていないせいか、なんとなく気恥ずかしさがある。でもやっぱり解放感は心地よい。



少しずつだけど
ようやく日常が戻ってきた

舞子ビラホテル BBQ大会 8月18日



2020年12月クラスター感染により病院機能が2週間停止した。すべての職員が言いようのない苦しさ、無力さを痛感した。二度と味わいたくはない、しかし忘れてはならない。救急医療の継続とこんなにも楽しい日常が途絶えないためにも。



第16回大西脳神経外科病院 地域医療連携懇話会

当院の取り組みを近隣の病院や施設の方々に知っていただき地域医療の密な連携を行うことを目的に始めた地域医療連携懇話会、今回で16回目となりました。

コロナ禍、中止を余儀なくされ開催できても懇親会のない報告会のようになっていますが、今回は情報交換会も含め以前と同様に開催ができました。

全てにおいて同じことが言えますが、やはり表情を見ながら相手の反応を感じ、コミュニケーションをとることが重要であると改めて痛感しました。特に地域での活動は、日々情報交換ができるとは限りませんので、このような会の重要性は大きいと思います。これからも地域の皆様と連携を密にとりながら脳卒中救急医療を支えていけるよう努力してまいります。



主治の治療実績

脳神経内科 小坂田 陽介

沿革 (抜粋)

| | |
|----------|--|
| 2016年 1月 | MR* 付下重床超音波治療機 (FUS: 1977レトニ) 導入 |
| 4月 | センター化導入 (専門性の高い診療を追求) |
| | 脳腫瘍・脳血管外科センター (床4F) |
| | 脳卒中・SCUセンター (床3F) |
| | 脊髄・脊髄センター (床2F) |
| 2017年 7月 | 回復期病棟 (11床) 開設、計153床 |
| 8月 | 3T MRI (4号機 導入) |
| 2020年 3月 | 日本医療機能評価 (JQA: Ver.2.0) 4回目認定 |
| 5月 | ハイケアユニット入院医療管理科 (HCU6床) |
| 6月 | 新型脳血管撮影装置 (Siemens社 ARTIS neo D-prim) 導入 |
| 2021年 5月 | 開院20周年記念モニュメント (生命 (いのち) の讃歌) 無形式 |
| 5月 | 回復期病棟 (50床) 計開、計172床 |

9月21日
西明石キャッスルプラザホテル



対面で行う情報交換会も3年ぶりです

第26回日本臨床脳神経外科学会



宇都宮市 ライトキューブ宇都宮

はなくまだまだ感染対策に追われながらの開催でした。

そして今年！4月には感染も落ち着き、新型コロナウイルス感染症が法律上の2類相当から5類相当へ引き下げられ、いろいろな学会や研修会が以前のような形に戻ってきました。第26回大会が7月15日・16日と栃木県宇都宮市で開催されました。恒例の函館脳神経外科病院スタッフさん達との懇親会も盛り上がり、真夏の暑さ以上に学会参加者皆さんの熱気に楽しく学べた2日間となりました。

感染拡大により第23回山梨大会はWeb開催、第24回沖縄大会も現地開催されはしたものの感染が広がる中、参加を断念せざるを得ませんでした。第25回は神戸での開催ということで対面での参加ができましたが、それでも懇親会開催



誰かがやるではなく、自分がやる

Project for making future leaders

未来のリーダー育成

プロジェクト



開院から23年、新体制となりいくつかの新たな企画が院長から提案されました。その一つがこの人材育成プロジェクトです。日々進歩する医療への挑戦と、改定を繰り返す診療報酬制度への順応、この二つを両立させることは至難の業ですが、これをクリアできる人材育成が当院にとって最も重要だと考えています。主眼は、「自己を啓発し医療の発展に寄与し社会に貢献する人材を育成する」という自主的な取り組みです。

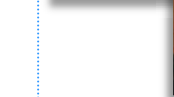
現在看護部を中心とした人材確保と離職対策をHRシンフォニーというコンサルティング会社と提携し行い始めました。今後は大規模災害に備えた病院全体での演習の実施や地域貢献への取り組みなど具体的に計画していこうと思います。

2023年 院内研究発表会 and 忘年会



4年ぶりの忘年会は皆さんの笑顔で盛り上がりました。この楽しい時間

は4年間の苦しみと何かにおびえて働いた日々を、一瞬にして明日への活力と変えました。



編集後記

猛威を振るったコロナ感染症がいまや日常化し、4年前にあった不安や恐怖は、マスクを外して歩いている人とすれ違うたびにすいぶん昔のことだったような気がします。とは言えこの世界的なパンデミックは良きも悪しきも色々な所に爪痕をのこしました。

我々医療従事者としてはこの経験がこれからの仕事に生かせるよう、忘れることなく取り組まなくてはならないと思います。そして「ぶれいん」も忘れることなく来年もご愛読ください。（吉野）